



まらまら

第37号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「まらまら」と輝いていける21世紀でありたい…。

男女共同参画フォーラム

いきいき未来いが2015を開催しました!!

6月13日、梅雨の晴れ間が広がる中、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2015」を開催しました。

今年は、ホール内ではオープニングのダンスグループ「スタジオ OOZE」によるダンスパフォーマンスに続き、東京未来大学教授の石坂督規のりさんによる講演会、市内の教育・家庭・企業のそれぞれの分野からパネリストを迎えてパネルディスカッションを行いました。

ホール外では、毎年恒例の「いきいき交流広場（男女共同参画ネットワーク会議会員による展示や販売）」と、子どもを対象とした遊びのコーナー「わくわくらんど」を開催しました。子どもと一緒に来場される方も多く、幅広い年齢層の方に参加いただきました。



講演会では、「だから必要!男女共同参画」と題し、男女共同参画の実現がなぜ求められるのか、地域の活性化という視点からお話いただきました。

パネルディスカッションでは、今年のテーマである「私を変える!男女(ともに)輝ける社会」をテーマに意見を出し合ってもらいました。パネリストが全員市民の方だったこともあり、参加者からは「身近なお話を聞いてよかった」という感想が寄せられました。講演会とパネルディスカッションを通して、男女共同参画の推進は社会を支えていく上で必要だと感じ取ってもらえたのではないかと思います。



編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666
(平成 27 年8月15日発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「まらまら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子
宮田 美智子・三山 佳代子

平成27年度の男女共同参画白書が発表されました。全ての女性が輝く社会づくりに向けて、政府によってさまざまな取り組みが行われているところですが、女性が置かれている状況や女性の活躍に対する意識は地域によって差があることから、地域や企業による主体的な取り組みと相互の連携が重要であるとされています。巻頭の特集で、地域が女性の活躍を通じて活力を高めていくための課題等が記されていますので、ご紹介します。

○政治の分野で

地方議会における女性議員の割合をみると、都道府県議会、市区議会及び町村議会の女性議員割合がすべて全国平均を超えているのは、東京圏、近畿地方などどちらかという都市部で地方議会への女性の参画が進んでいます。それ以外の地域でも、地方政治そのものを活性化させていく過程で女性の立候補者を増やしていくことで、女性の参画が進んでいくことが期待されています。

○地方公共団体・企業における女性の活躍

地方公共団体の管理職の女性割合は、平成16年～26年で年0.2ポイント（都道府県）～0.6ポイント（市区）と緩やかに増加しています。一方、都道府県や市区町村では、団体ごとの差が大きくなっています。

総務省の「労働力調査（基本集計）」によれば、平成26年の女性の管理的職業従事者は16万人と平成8年の22万人をピークに減少していますが、男性の管理職的職業従事者は平成5年以降大きく減少していることから、女性の管理的職業従事者は相対的に増加傾向であると言えます（平成26年は11.3%）。しかし、国際的には依然低い水準を推移しており、女性が働きやすい環境づくりや、管理職登用に向けた人材育成など、息の長い総合的な取り組みを計画的に進めていくことが重要です。

○労働の現場で

男女の労働時間に着目すると、大都市を抱える都道府県やその近隣で、男性の長時間労働が多く、女性の有業率が低い傾向にあります。また、「地域における女性の活躍に関する意識調査（以下「女性活躍意識調

査）」（平成27年内閣府実施）によると、「自分の理想は『夫が外で働き、妻は家庭を守る』ことだ」という考え方を肯定する人の割合が高い都道府県でも同様の傾向が見られました。女性が希望に応じた就業を実現できるようにするため、男性の家事や育児の参画意識を高め、男性の長時間労働の減らすことが重要です。このことは地域活動の活性化にもつながります。

○子育てに関して

「女性活躍意識調査」によると、理想の子ども数を実現するために必要なこととして経済的な負担が減ることを挙げる人が男女とも最も多く、女性は男性に比べ周囲のサポートを重視している傾向が見られました。子育てを女性だけの負担にせず、家庭や職場、社会がサポートしていくことが必要です。

○住む場所の選択

東京圏への女性の流入が近年増加しています。その中心は若年層で、現役世代の女性の就業の場は東京圏で拡大しています。しかし、女性は必ずしも都市部で仕事をするにあこがれているわけではありません。「女性活躍意識調査」のなかで都市部に住むことを理想とする理由について、女性は「交通機関や商業・娯楽施設の充実」や「豊かな文化や流行に触れられる」といった、生活・文化面を理由に挙げる人が多く、「近くに親族や知人が多い」が次に多いという結果でした。つまり、都市部でも地方でも地域とのつながりが女性の住む場所の選択に影響を与えている可能性があります。ここに着目し、女性の就業意欲の高まりに対応できる対策が地方で進めば、地方は女性により魅力ある場所となると考えられます。

○まとめ

地域がその活力を高めていくためには、男女がともに暮らし、働き、子どもを産み育てることを通じて理想を実現できる地域にしていくことが重要です。それぞれの地域の特色を生かしながら、活力ある地域づくりを進めていくことが期待されます。



イクボスでいこう!

～少子化・女性活躍時代に求められる上司の役割～

「イクボス」って何?

ワーク・ライフ・バランスを実現する上でその存在が重視される「イクボス」。「イクボス」とは何なのか、なぜ重視されているのか、についてのお話です。市民の方、伊賀市で働いている方ならどなたでも参加できます。ぜひご来場ください。

- とき 9月30日(水) 19:30～
- ところ 大山田農村環境改善センター
多目的ホール (伊賀市平田 650番地)
- 講師 NPO法人 ファザーリングジャパン
代表理事 安藤 哲也 さん

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
(いきいきネット) 会員紹介

—あやま文化協会—

地域に根ざした文化活動の促進と協力、連携、交流を通して振興を高めていくことを目的に、活動しています。会員は、阿山地域を本拠として活動していて、活動目的に賛同する団体や個人で構成されており、現在会員数は345名です。

会員それぞれが活動内容の発表を行いながら、会員間の交流を図ることをめざしています。

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議 (いきいきネット)
会員 随時募集中!!

男女共同参画ネットワーク会議は、男女共同参画社会の実現をめざすことに賛同する団体や個人が会員となり、構成されています。男女共同参画に関心のある方は、お問い合わせください。

(担当) 伊賀市男女共同参画センター

TEL 22-9632 FAX 22-9666

